

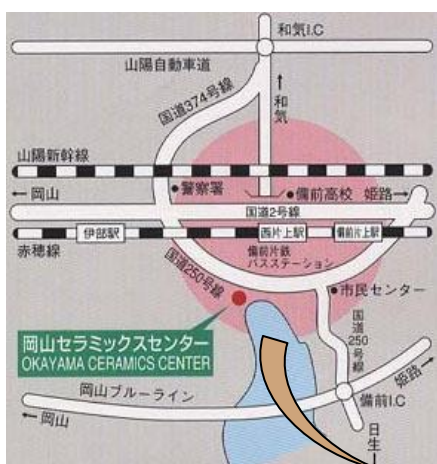
平成25年度

(一財) 岡山セラミックス技術振興財団 研究報告会

— ご 案 内 —

平成25年度における研究成果報告会を次のとおり開催しますので、地域企業の方々、御関係の方々にも多数御参加いただきたく御案内します。

- 開催日時 : 平成26年 3月20日(木) 13:00~15:00
- 会場 : 岡山セラミックスセンター セミナー室
(備前市西片上1406-18 TEL 0869-64-0505)
- 定員 : 50名
- 参加費 : 無料
- 申込方法 : 別紙の様式により、平成26年 3月 7日(金)までに
FAX(0869-63-0227)でお申込み下さい。
- 申込先 : (一財)岡山セラミックス技術振興財団 事務職員 中本いづみ
備前市西片上1406-18 TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227
- その他 : お申込み後、御欠席の場合には、代理の方の出席をお願いすると共に事務局に必ず御一報くださるようお願いいたします。
- 会場案内図



- ・ JR赤穂線で45分西片上駅下車徒歩約8分
- ・ 岡山市内から車で約1時間

■ プ ロ グ ラ ム

時 間	内 容
13:00-13:05	<p>開会あいさつ (一財)岡山セラミックス技術振興財団 理事/研究所所長 高 長 茂 幸</p>
13:05-13:25	<p>モールドパウダーの鑄型内伝熱特性の検討 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 研究員 中 谷 枝里香</p> <p>鋼の連続鑄造において、モールドパウダーは鑄片からモールドへの熱伝達制御の役割をもつが、その伝熱機構は十分に解明されていない。レーザーフラッシュ法によってパウダーフィルムの熱拡散率を測定し、鑄型内伝熱に影響すると考えられる要因を調査した結果を報告する。</p>
13:25-13:45	<p>MgB₂の合成と特性 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 研究員 田 中 博 章</p> <p>MgB₂をMgO-Cれんがに添加することで、耐酸化性、耐食性が向上する可能性がある。B₄CとMgを出発原料として熱処理を行いMgB₂の合成を確認した。合成したMgB₂の物理特性と高温下での酸化特性を評価したので報告する。</p>
13:45-14:00	<p>休憩</p>
14:00-14:20	<p>Al₂O₃れんが試料の耐食性・耐浸潤性に及ぼす窒化ケイ素添加の影響 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 研究員 前 田 朋 之</p> <p>スラグへ窒素が取り込まれることによりスラグ粘性は高くなると考えられる。本研究ではAl₂O₃系れんが試料およびAl₂O₃-Si₃N₄系れんが試料を用いて、スラグ浸潤に及ぼす窒化珪素添加の影響を調査した結果を報告する。</p>
14:20-14:40	<p>新規合成化合物 (Al-Zr-C系化合物)の合成とその特性評価およびAl-Si-C系化合物の発熱性の検討 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 西 川 智 洋</p> <p>新たな添加剤の構成を模索するために、アルミニウムとジルコニウムの複合炭化物に注目した。アルミニウム、ジルコニウムの各単体をもちい、炭素源に廃木材の樹皮を1000℃で炭化処理した樹皮(以下、木質炭素と表記する)、カーボンブラックおよび鱗状黒鉛からAl-Zr-C系化合物の合成を試みた。さらに木質炭素から合成したAl-Zr-C系化合物の酸化挙動を調査した結果を報告する。また、Al-Si-C系化合物(Al₄SiC₄)の焼結体の発熱特性についてもあわせて報告する。</p>
14:40-15:00	<p>Al₂O₃-Al₄SiC₄材質の高温における緻密組織形成 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主席研究員 星 山 泰 宏</p> <p>新規複合化合物であるAl₄SiC₄の耐火物への応用に関する研究の一環として、Al₄SiC₄を多量添加したAl₂O₃-Al₄SiC₄材質の高温における緻密組織形成について検討した結果を報告する。</p>
15:00	<p>閉 会</p>

平成25年度 (一財)岡山セラミックス技術振興財団研究報告会参加申込書

平成26年 月 日

会社名 :
申込者 :
連絡電話 () -

案内のあった報告会に次のとおり参加を申し込みます。

No	参加者名	所属/役職	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			